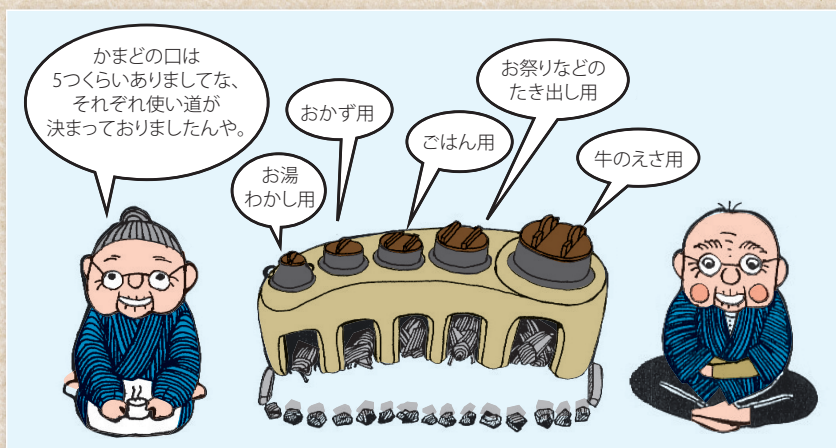




栗東歴史民俗博物館 旧中島家住宅のかまどは…

栗東ではかまどのことを「ヘツツイ」や「ヘツツイサン」などとよびます。
明治時代の農家住宅、旧中島家住宅の土間に設置されたヘツツイは、
この住宅が栗東歴史民俗博物館の敷地に移築された際に作られました。
築造にあたっては、住人の中島家の皆さんの記憶に基づいて、
ヘツツイの形や、鍋や釜を設置する口の数を再現しています。

旧中島家住宅のヘツツイは全体が藁スサ入りの土できていて、形はやや湾曲した勾玉型をしています。口は五つあります。口の数が多いように感じられますが、これは京都を中心とした京阪地域、滋賀県内では栗東市を含む湖南地域でみられる特徴で、湾曲した形はたくさんの口を一箇所に座ったまま管理できるよう、効率を求めた結果です。



また、栗東市域では土でつくるヘツツイは、左官職人などのプロではなく、家の住人が作ることも多かったようです。いまある旧中島家住宅のヘツツイも実際に土のヘツツイ作りを知る古老とともに、博物館の職員が築いたものです。

旧中島家住宅のかまど再生サポーター募集！ (かまどを解体再築造します)

旧中島家住宅のかまどは老朽化が進んでおり、平成27年度に現在のかまどを解体し、再築造する予定です。

家の住人が作っていた、という栗東のヘツツイ作りにならって、新しいヘツツイはお子さんからヘツツイを使ったことがある世代の方まで、市民のみなさんの参加を募って作り上げたいと考えています。

ヘツツイ作りは平成27年5月～8月の週末を中心に、解体・土作り・積み上げ・上塗りなどの工程を数回に分けて行う予定です。これらの詳細は、今回のシンポジウムを踏まえて構成します。まずは、少しでも興味があるという方は、栗東歴史民俗博物館までお問い合わせください。詳細が決まりましたらご連絡差し上げます。



かまど築造イメージ (提供: 宮奥左官工業)

お問い合わせ先

電話 077-554-2733

E-mail hakubutsukan@city.ritto.lg.jp